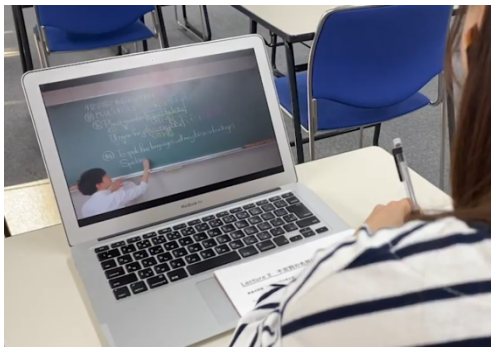
在籍生の保護者の皆様へ

＜2020 年５月２日付＞

緊急事態宣言並びに各高校の休講期間延長を受け、弊塾も当面はオンラインでの授業と指導を続けていくことといたしました。このことにつきまして、以下に現状と見通しを述べさせていただきます。

(1)　オンラインでの授業と指導



現在まで「授業の映像配信・チューターによる電話指導・バーチャル自習室と質問コーナー・高３生へのほぼ毎日の点呼および点呼をした講師による指導・全学年全授業での出欠確認・授業内容に関わるテスト・希望者参加型のテスト・個別の要望に応じたテスト」などを実施しております。

５月より上記に加えまして、「到達度テスト（日程を決めて行う、受験科目を網羅したテスト）・スモールステップの範囲別テスト・気晴らしに楽しんでできるようなテスト」などテスト類の充実を図ります。また科目によっては定期テストも実施いたします。

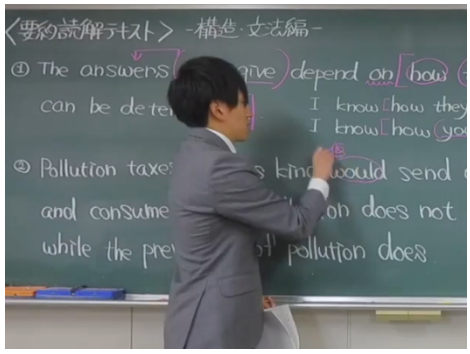
加えて「目安箱」という意見集約フォームをつくり、そこに載せられた生徒の皆さんからの要望に対して、リクエストの多いものや実現可能なものからできる限り形にして参ります。自粛期間が長引くことでの生徒の皆さんの具体的な学習面、メンタル面などを考慮し、オンラインで接触できる機会や時間を増やすべく努力、工夫をいたします。

また、４月中はいったん停止していた個別コースの指導を再開いたします。詳細につきましては、受講されている方々に連絡いたします。

生徒の皆さんの学習が途切れないように追加で教材やテスト類の配布をいたしますが、一部は実際にご来塾いただいて配布という形を取りたいと考えております。テキストやテストの中にはオンライン配信すると見辛いとか書き込みづらいという場合もあり、そのようなケースを考慮いたしました。全面郵送も検討いたしましたが、このような情勢下で、配達に関わる方のご負担を可能であれば軽減したいと考えました。配布時に密を避けられるようこちらで来塾時間帯を指定いたしますので、ご本人並びにご家庭の方がお認めになられる場合は来塾して教材を受け取ってください。ご来塾されない場合は郵送いたします。

下にも述べますが、高校の夏休みが短くなる前提で、特に学年が上の生徒の皆さんには「一学期中に学習時間や量をきちんと確保してもらう」という意識をスタッフ一同で持っております。スタッフから生徒の皆さんへの声かけの中で、既に高３生では１日 10 時間程度の学習時間を確保しているという声も多数拾っておりますが、そういう場合は中だるみしないように、まだその域に達していない場合は達せられるように、指導内容の充実を図ります。

(2)　延長期間の終了見込み



現時点で千葉県の公立高校は 6/1（月）より開校予定となっておりますが、実際にそれが実現した場合に、同日から「自習・面談・相談・質問」などを塾で再開する予定です。授業の対面化は 6/7(日)より行う予定です。6/1（月）から対面授業開始としないのは、授業を開始してしまうと、来塾の強制力が強くなってしまうためです。数ヶ月ぶりに登校した生徒の皆さんが、まずは学校生活に慣れると同時に疲れを残さないことが大事だと考えました。

今回緊急事態宣言の延長に際しまして、5/1（金）付専門家会議の発表中には「新規感染者数が一定水準以下に下がらない限り」というコメントがありましたが、実際に新規感染者が 10 日連続で出ていない鳥取県は県立学校の再開を発表しております。このように自治体も認めるような状況の改善があった場合には、対面授業や自習室利用の再開を早めることもあり得ます。また現時点では９月入学実現による大学入試の時期自体が後ろにずれるというドラスティックな変化は考慮しておらず、国や大学からの正式発表があれば対応していく予定です。

(3)　解除後、一学期終了まで

世の中で一般的にコロナ感染拡大が収束したと捉えられ、生徒の皆さんや保護者の方の間である程度密な状態への抵抗がなくなっている場合には、対面型の授業、自習、面談、相談、質問などを通常に戻します。

また別のケースで、自粛期間は過ぎたもののまだ世の中に「密を避ける」という意識が色濃く残っている場合には、消毒用アルコール、次亜塩素酸ナトリウムなどの殺菌、滅菌剤、マスクやビニールシートなどの拡散、接近防止具を利用しつつ、一部の授業を対面化し、スペースや時間を限った自習室利用、質問、相談、面談を徐々に行っていく予定です。

上記につきましては綺麗に分けられずその中間も考えられますが、その時の状況に応じて対応して参ります。

(4)　夏期講習について

高３生は多くの高校の夏休みが通常より短くなる（いわゆる受験勉強という点では、勉強に充てる時間を十分に取れない可能性がある）という前提で、夏期講習の開始時期を例年より２週間から３週間程度早める予定でおります。今年度は学校や部活動に割く時間が通常の一学期に比べてかなり短くなっている状況を想定しており、開始を早めても大丈夫だと判断しております。授業は原則対面で行い、自習、質問、相談、面談等も通常通り行いたい意向ですが、日中は学校の授業が入ってくることを想定して、一部の授業内容を各自が空いた時間に見られるよう配信型にすることも検討しております。

高 1、２生につきましては学校の夏休み、定期テスト、行事などの日程が流動的であることを考慮しつつ、慎重に時間割を組みたいと考えております。高３生のようにまず時期を早めることに主眼を置くのではなく、できるだけ選択肢の多い、生徒の皆さんの学校生活の状況に応じてフォローをしやすい体制は取れないか検討していきます。

以上となります。今後ともご理解ご協力を賜われればありがたく存じます。

大学受験アイアールエル　塾長　岩田朋彦